

第23回 全国高等学校選抜ボート大会

天竜漕艇場

2012年03月23日(金)～2012年03月25日(日)

3月21日9時。関西クルーは森川先生が運転する我等が『鬼火弾号』に乗り込み、2年ぶりに静岡の天竜に向けて出発した。OBにとっては毎度お馴染みだが、今年もS.Aに寄り倒し、寄る先々で名物など食いまくって5時半頃に天竜川に到着した。去年の『東日本大震災』により中止となった選抜大会会場は桜がチラホラと咲き始めていた。ここに子供達全員が初めて2000mの巨大なコースを間近に見下ろす。滑走路のように雄大なコースは遙か彼方にスタートがあるが、肉眼では厳しい。ジュニア強化合宿で斑蛇口湖に参加していない子供達には緊張が走ったに違いない。見慣れた1000mコースとは迫力が違う。3月23日朝に到着した保護者として同じだろう。全員が2000m初体験！澄み切った空気の中、ただ呆然と川を眺めたに違いない。H23OB保護者の山地・角南・田中母と田中君が応援団にとって心強い支えとなっていた。1年抜けると、現地での引継ぎが出来ていないのが大変だったと思う。21日から子供達は『光明寺』でお世話になる。禅寺なので座禅も組める。精神統一には有り難い宿舎だ。そして、開会式が行われた22日の夕食は・・・やっぱり、ウ・ナ・ギ！！

22日深夜には、保護者応援団も出発した。レンタカーのマイクロバスで仲良く出発した。

23日 予選1組 9:20

レーン	所属	クルー名	着順	500m	1000m	1500m	2000m	備考
1	愛知	猿投農林高校 加藤博志	3着	1分49秒09	3分41秒18	5分38秒82	7分34秒47	準決勝 へ
2	埼玉	越ヶ谷高校 武田直人	6着	1分50秒89	3分45秒51	5分51秒55	7分57秒77	-
3	神奈川	津久井高校 山口健太	1着	1分43秒61	3分32秒26	5分25秒10	7分18秒75	準決勝 へ
4	岡山	関西高校 古米峻知	2着	1分45秒60	3分36秒20	5分32秒85	7分31秒73	準決勝 へ
5	鳥取	米子東高校 菱谷眞一郎	5着	1分56秒22	3分55秒33	5分54秒44	7分51秒50	-
6	愛媛	宇和島東高校 是澤祐輔	4着	1分47秒21	3分40秒79	5分37秒61	7分36秒83	-

予選 2 組 10:42

レーン	所属	クルー名	着順	500m	1000m	1500m	2000m	備考
1	岡山	関西高校	3 着	1 分 37 秒 53	3 分 18 秒 28	5 分 03 秒 23	6 分 46 秒 47	準決勝へ
2	熊本	熊本学園大学付属高校	6 着	1 分 41 秒 43	3 分 24 秒 49	5 分 11 秒 69	6 分 58 秒 85	-
3	福井	若狭高校	1 着	1 分 38 秒 18	3 分 17 秒 99	5 分 00 秒 80	6 分 42 秒 41	準決勝へ
4	岐阜	加茂高校	2 着	1 分 35 秒 86	3 分 15 秒 22	4 分 59 秒 30	6 分 42 秒 72	準決勝へ
5	宮城	石巻工業高校	5 着	1 分 42 秒 21	3 分 25 秒 14	5 分 10 秒 27	6 分 54 秒 81	-
6	愛知	猿投農林高校	4 着	1 分 39 秒 72	3 分 29 秒 04	5 分 12 秒 44	6 分 54 秒 14	-

クォドメンバー・・・河井 小野田 中西 勝山 和田

雨の中の予選は『何とか・・・やっと・・・かろうじて・・・泣き泣き』予選を通過していた。COX の和田と勝山キャプテン以外は 1 年生ばかり。2000m 経験者は河井のみというクルーで、初戦 3 位で通過したなら「良くやった！」と褒めるべきなのではないだろうか。明日の準決勝・・・さてさて、どうなることやら。

3 月 24 日 準決勝 1 組 10:34

レーン	所属	クルー名	着順	500m	1000m	1500m	2000m	備考
2	東京	早稲田大学 高等学院	2 着	1 分 36 秒 94	3 分 18 秒 18	5 分 02 秒 71	6 分 48 秒 84	順位決定へ
3	福島	会津高校	3 着	1 分 40 秒 33	3 分 21 秒 70	5 分 05 秒 44	6 分 49 秒 71	-
4	福井	若狭高校	1 着	1 分 38 秒 91	3 分 17 秒 52	5 分 00 秒 09	6 分 45 秒 02	決勝へ
5	岡山	関西高校	4 着	1 分 43 秒 85	3 分 27 秒 38	5 分 13 秒 07	6 分 58 秒 06	-

何が起こったのだろうか。予選で若狭とは当たっているから若狭が 1 着は想像できていたが、ここまで引き離されての 4 着とは。

準決勝 4組 11:30

レーン	所属	クルー名	着順	500m	1000m	1500m	2000m	備考
2	愛媛	宇和島東高校 是澤祐輔	3着	1分48秒14	3分46秒88	5分45秒92	7分54秒42	-
3	岡山	関西高校 古米峻知	1着	1分46秒34	3分41秒70	5分35秒67	7分37秒41	決勝へ
4	愛媛	今治西高校 竹内友哉	2着	1分49秒18	3分47秒61	5分43秒74	7分42秒41	順位決定へ
5	富山	富山東高校 水本郁人	4着	1分52秒32	3分53秒70	5分54秒01	7分59秒89	-

凄い！凄い！1着も凄いが、タイムが素晴らしい！さぞ、気持ち良いレースだったろう。

順位戦 1組 16:44

レーン	所属	クルー名	着順	500m	1000m	1500m	2000m	備考
2	滋賀	大津高校	1着	1分37秒99	3分17秒49	4分57秒80	6分42秒18	-
3	神奈川	横浜商業高校	2着	1分39秒26	3分19秒82	5分00秒63	6分43秒06	-
4	大阪	清風高校	3着	1分38秒56	3分19秒54	5分01秒54	6分46秒68	-
5	岡山	関西高校	4着	1分41秒55	3分25秒00	5分06秒81	6分48秒32	16位

なぜ・・・？ここまでの順位になってしまったのだろうか。予選の勢いが感じられないのは、私だけだろうか。掲示板には和田の反省文に目が留まった。内容は思い出してください。「勝てば漕手のお陰。負ければ舵手のせい。」COXの立場をそんな風に説明してくれた人がいた。司令塔とはいえ、縁の下の力持ち的立場であるのだと、心に響いた記憶がある。

3月25日、最終日の朝を迎えた。古米はメダル獲得への覚悟の投稿を掲示板にピンクの文字で綴っていた。

決勝 1 組 9:50

レーン	所属	クルー名	着順	500m	1000m	1500m	2000m	備考
2	福井	小浜水産高校 武田和樹	2 着	1 分 48 秒 41	3 分 39 秒 40	5 分 27 秒 95	7 分 19 秒 88	-
3	岐阜	東濃実業高校 大竹崇寛	3 着	1 分 47 秒 79	3 分 39 秒 99	5 分 30 秒 58	7 分 28 秒 46	-
4	神奈川	津久井高校 山口健太	1 着	1 分 48 秒 09	3 分 38 秒 82	5 分 27 秒 11	7 分 15 秒 17	-
5	岡山	関西高校 古米峻知	4 着	1 分 48 秒 82	3 分 44 秒 60	5 分 38 秒 00	7 分 34 秒 40	4 位

優勝した津久井高校の山口君は予選より断トツのトップタイム で来ていた。古米も実力的にはメダルを狙える所にいたと私は思っていたが……。しかし、1 年生で 4 位入賞って、それだけでも凄くない？

先生のブログは悔しさがひしひしと感じられるものであった。さあ、夏までに一回りも二回りも大きくなっていくのを期待しよう。

シングル男子優勝・・・神奈川、津久井高校の山口健太君

ダブル男子優勝・・・広島、宮島工業高校

クォド男子優勝・・・岐阜、加茂高校

三大学レガッタ(NRM)

気圧の谷間が通り、数日間、強い風が吹き荒れていた。旭川の艇も数艇船台から落ちたり、吹き飛ばされて、艇同士がぶつかり破損する事態も起こった。川面には白波が立ち、乗艇練習も難しい状態が続いていた。

4月7日(日)に戸田漕艇場で行われる日・立・明三大学レガッタの高校招待レースに出場する為、5日16過ぎに出発した。毎年、ほぼ初めての戸田行きを経験する生徒満載である。また、飛行機・東京初体験の生徒がほとんどなので、試合とは別のテンションが上がりまくり、珍道中を見せてくれる。今年も色々やってくれた様だ。19時頃池袋に到着すると、自由行動となる。『デニーズ』でピザ食べ放題が定番だったが、今年はどこに散って行ったのだろうか。

《おもろい話》池袋駅に着いた時、○崎がICカードSuica対応の「スイカロッカー」を見た瞬間、「西瓜のコインロッカーがある！！」とビックリしてました。さらに.....「ビックカメラがある！すげえ！」と驚いてました。(岡山にもあるだろ?!)

また、○○田は飛行機に乗った途端、わけもわからずいきなり天井のボタンを押し、用もないのにスチュワーデス呼びつけてしまいました。さらに羽田からの移動中、JRチケットを無くして往生してました。(まあ、駅員に事情を説明して事無きを得ましたが...)

高校男子シングル

- 1 岐阜選抜
- 2 本所高校
- 3 関西高校 (福明)・・・6位
- 4 諏訪清陵高校
- 5 清風高校
- 6 南稜高校

高校男子ダブル

- 1 南稜高校
- 2 清風高校
- 3 関西高校(古米・小野田)・・・2位
- 4 むつ工業高校
- 5 岐阜選抜
- 6 諏訪清陵高校

高校男子クォドルプル

- 1 岐阜選抜
- 2 会津高校
- 3 清風高校
- 4 関西高校(和田・河井・勝山・中西・岡崎)・・・3位
- 5 諏訪清陵高校
- 6 南稜高校

今年、国体が地元開催される岐阜が凄い勢いで成長しているみたいで、ダントツトップだったようだ。大学生の力強い漕ぎも見られて、沢山の OB から差し入れも届いた。楽しい春休み最後のイベントが終わった。さあ、新学期が始まるぞ！新入部員の勧誘と練習に子供達が奔走しなくてはならない季節だ。

第一回 さくらおろち湖レガッタ

初めて聞く名前のレースだ。4月15日(日)に行われた。毎年四月第一日曜日に行われていた松江レガッタが無くなり、代わりにこのレガッタが開催されることになったらしい。お陰で、楽しみにしていたお花見前夜祭が無くなった。おでんや『庄助』もスナック『ケネデー』も遠くなってしまったのだ。さて、この「さくらおろち湖」とは島根県雲南市にある。尾原ダム湖が平成の大合併で県東南部に建設されたもので、自転車競技コースとボート競技コースが2011年10月に設置されている。1000mコースなので、中規模大会には向いているのだろうが・・・山の中、国道314号線沿いとは書いてあるが宍道湖と広島県境の中間あたりだから不便に違いない。後は、風等の気候が気になる。買出しも『道の駅・おろちの里』くらいだろうか。森川先生は県強化練習のために同行はせず、保護者が引率して行った。

舵手付きクォドルプル 10:40 タイムトライアル

- 2 江津工業高校・・・3分24秒35
- 3 関西高校・・・3分48秒13 (和田)
- 4 松江北高校・・・3分31秒30

舵手付きクォドルプル決勝

- 1 松江北高
 - 2 関西高・・・3分48秒82 3着(総合3位)
 - 3 江津工業高
 - 4 米子漕艇クラブ
 - 5 中国電力
- } 一般男子タイムトライアル

ダブルスカル 10:30 予選 B

- 2 江津工業高校 B・・・3分 47秒 85
- 3 関西高校・・・・・・・・・・3分 59秒 55 (岡崎)
- 4 松江北高校・・・・・・・・・・3分 51秒 09

ダブルスカル順位決定 13:10

- 3 米子東高
- 5 関西高校・・・・・・・・・・3分 57秒 56 1着(総合 6位)

第 8 回高畑杯百間川レガッタ(春季競漕大会県第 56 回中国高校ボート選手権大会)

予定では、4月 22 日だったのだが、雨で順延となり、29 日に行われた。青空の広がる、熱い一日だった。百間川ということもあり、多くの OB 保護者が応援に駆けつけていた。と思う。

男子シングル

- 1 位 古米 (関西) 4分 03秒 72
- 2 位 河井 (関西) 4分 08秒 47
- 3 位 佐たけ (東商) 4分 14秒 54
- 4 位 久保田 (操山) 4分 18秒 37
- 5 位 湊 (備前緑陽) 4分 30秒 88
- 6 位 岡田 (関西) 4分 52秒 76

男子舵手付きクォドルプル

- 1 位 関西 4分 01秒 44
(難波、中田、鈴木、稲岡、竹中)

男子ダブル

- 1 位 関西 A(勝山・福明) 3分 54秒 94
- 2 位 関西 B(小野田・中西) 3分 57秒 63
- 3 位 東商 4分 06秒 97
- 4 位 操山 4分 09秒 64
- 5 位 備前緑陽 B 4分 27秒 20
- 6 位 備前緑陽 A 4分 32秒 11

先生のお言葉

本日、春季大会。保護者の皆様におかれましては応援ありがとうございました。選手たちは応援を力にすることが出来たと思います。

先週、強風で大会が流れたため、朝からモーターボートに乗ってステッキ取り付け等のコース設営。その後、昼前からレース。そして、3時前からまたまたモーターボートに乗ってコースの撤収作業。いったい今日一日で何時間水上にいたのでしょうか？ おかげでさらに日焼けしてしまいました。顔がヒリヒリしてます。まあ、雨の中での作業よりずっといいですが.....。

選手の皆は、今日のレースで何が良かったのか？悪かったのか？を十分検証して次のレースに繋げなければなりません。進化を止めてはいけません。同じ失敗を繰り返してはいけません。（基本的に同じ失敗を繰り返すのはバカです！）

「もっと上、もっと上、夢叶うまで挑戦」です。

ダブルより遅いクォドって・・・一艇レースだからって、それはアンマリ・・・。シングルとも2秒差、うう~~~~ん・・・

朝日レガッタ

2年ぶりの琵琶湖に立った。3年生は1年の時に応援に来て以来かも知れない。午後から水面に三角波が立つ中のレースを知っている子は誰もいない。

1日に岡山を出発し明るいうちに瀬田に到着。沢山の人の見送りを受けて旭川・百間川・学校と荷物を詰め込みながらやって来た。選抜・さくらおろち・春季大会の不甲斐なさを払拭しようと口々に誓いながらやって来た。

関西クルーを待ち構えていたのは、瀬田にいるOB達。同志社と龍谷の先輩からの有り難い差し入れが届いた。カロリーメイトやアクエリアスに紛れて、毎度恒例の教科書も・・・岡崎はちょっと戸惑ったらしい。森川先生はブログに「更年期障害物競走になったかもしれません。」と怒涛の5・6月のしょっぱなから体調不良を訴えていた。

2日(水)は公式練習。岡田が『沈』したとか・・・琵琶湖ではよくある話、シングルなら尚更です。森川先生は岡山まで、とんぼ返りをしていた。坐骨神経痛やら更年期やら抱えてのお母様の入院は気が気ではなかったはず。体に鞭打っての強行軍だったようです。

5月3日(木)

シングル予選1組 3上がり

1位 若狭高 B	3分 51 秒 59	
2位 瀬田漕艇クラブ	3分 52 秒 35	
3位 高島高 B	3分 55 秒 88	
4位 松山東 A	3分 59 秒 02	
5位 朱雀高	4分 07 秒 60	
6位 関西(岡田)	4分 20 秒 51	明日の敗復へ

シングルスカル予選7組 3上がり

1位 米子東高	3分 37 秒 94	
2位 伏見工業高 B	3分 41 秒 97	
3位 小松高 B	3分 44 秒 28	
4位 平野瀬田漕艇クラブ A	3分 50 秒 75	
5位 今治西高	4分 04 秒 35	
6位 関西高 A(岡崎)	4分 17 秒 91	明日の敗復へ

ダブルスカル予選5組 3上がり

1位 熊本学園大付属 A	3分 20 秒 15
2位 愛媛大学付属高	3分 29 秒 28

3位 関西高 (勝山・福明)	3分31秒69	準決勝へ
4位 東舞鶴高B	3分35秒77	
5位 小松高B	3分41秒58	
6位 愛知選抜	4分53秒46	

舵手付きクォドルプル予選1組 3上がり

1位 瀬田工業高	3分19秒80	
2位 宇和島水産高	3分23秒86	
3位 東舞鶴高	3分24秒31	
4位 愛知選抜B	3分24秒84	
5位 関西高B	3分37秒30	明日の敗復へ

(難波 中田 鈴木 竹中 稲岡)

舵手付きクォドルプル予選7組 3上がり

1位 清風高A	3分15秒67	
2位 関西高A	3分16秒16	準決勝へ

(和田 古米 河井 小野田 中西)

3位 今治北高	3分20秒19	
4位 敦賀工業高B	3分22秒41	
5位 松山東高A	3分22秒76	
6位 大津高B	3分27秒53	

先生のお言葉

本日予選。熱き応援、ありがとうございました。結果は周知のとおりです。
私的には.....もうちょっとイケたかな?! いや、もっとイケるはず?!といった感想です。

クォドAは、クルーを組んで10日足らず。それに漕手全員が2年生。まだまだ進化の過程です。この朝日レガッタ、大きな大会かもしれませんが、これが全てではありません。(もちろん目標はあります!) 最終ターゲットは今夏のインハイ・国体です。だから結果を恐れず、果敢に挑戦して欲しく思います。やろうとしない事はできません。挑戦しないことが最大の失敗なのです。成功の反対は失敗ではありません。成功の反対は、妥協すること、逃げることなのです。大会通じて進化することを望みます。自分でしか自分の扉を開けないのです。

ダブルは.....はっきり言って.....タナボタ勝利です。「運も実力のうち」と言いますが、神様が助けてくれたのです。ダブルもクォド同様、攻めて攻めて攻めまくって欲しく思います。負けて失うものは.....ない!!

さて、この日、森川先生は H19・OB の三村君(東レ滋賀)と夜の瀬田をフラフラと……。昔話をしながら楽しい時間を過ごしたに違いない。

5月4日(金)、朝から霧雨と強風で長〜い審議の後、敗者復活戦は中止となった。OBが参加しているエイトの予選も順延となり翌日に繰り越された。敗者復活の中止はクオッド B チームにはラッキーだったかもしれない。タイム順での繰上げで、準決勝に進むことが出来たからだ。

5月5日(土)、こどもの日らしく、五月晴れの天気となったが、風は相変わらず強く吹いてくる。そのため、今日も少しずつレースが遅れていった。午後の付きフォアから 500m レースに変更するとかで、準備もあり 2 時間遅れた。朝日らしいと言えば朝日らしいが、現地の選手や、応援の保護者はたまったものではないだろう。

後日、聞いた話では、中学生のシングルがスタート位置にて強風の為、並行に艇を揃える事が出来なかった。審判が横風に艇の舳先が横向きに流れていくのを見て

「ふんばれ。耐えろ。」

と、声を掛けてくるが、どうしても流されて行く。そこで、すぐさまクイックスタートとなったが、スタートした途端 3 艇がぶつかり合い『沈』してしまった。500m レースが各校の運命を左右する結果となった。

男子ダブル準決勝 1 上がり

1 着 瀬田工業 A	4 分 18 秒 64
2 着 小松 A	4 分 24 秒 35
3 着 関西	4 分 30 秒 15
4 着 熊本学園大学付属 C	4 分 30 秒 39
5 着 清風	4 分 30 秒 87
6 着 東舞鶴 B	4 分 55 秒 96

午後 5 時を過ぎても、結果の報告が無い。関西ボート連盟のサイトでも結果発表が出ない。いやな予感がする。

投稿が中々入らないので、また、中止とか言うんじゃないかと心配していたが、19 時過ぎにやっと、結果の一報が入った。このクルーはスタートダッシュに成功したのだろう。500m ではスタートの遅れは容易に取り返すことは出来ない。先行型のチームの勝利となる。

準決勝 4 組

レーン	所属	クルー名	着順	500m	備考
1	-	小松高 A	4 着	1 分 35 秒 43	-
2	-	大津高 C	6 着	1 分 36 秒 53	-
3	-	瀬田工業高	2 着	1 分 30 秒 49	-
4	-	関西高 A	1 着	1 分 30 秒 34	決勝へ
5	-	徳島市立高	3 着	1 分 34 秒 93	-
6	-	膳所高	5 着	1 分 36 秒 22	-

先生のお言葉

朝日レガッタ準決勝、わずか 0.1 秒の差で明暗が分かれました。

ラスト 200m は一漕ごとにトップボールが入れ替わる大激戦でした。最後は関西 TEAM が.....。

これは、応援して下さった方々の波動が届いたのではなかろうか?! と。そして.....最後に勝負を決めるのは「心」だと改めて実感しました。

皆さんのおかげで何とかクォド A が決勝進出です。(10 年連続!) ありがとうございます。

明日は.....思いっきり楽しめます。どうか応援パワーを送って下さい。

てか、「0.1」ってどれくらいの差や?!

準決勝 5 組

レーン	所属	クルー名	着順	500m	備考
1	-	関西高 B	6 着	1 分 37 秒 64	-
2	-	和歌山北高	4 着	1 分 33 秒 44	-
3	-	敦賀工業高 A	2 着	1 分 29 秒 65	-
4	-	大津高 A	1 着	1 分 29 秒 45	決勝へ
5	-	柳学園高	5 着	1 分 34 秒 24	-
6	-	洲本高	3 着	1 分 32 秒 77	-

毎年恒例の『麗門』での、世界焼で保護者は盛り上がりを見せた。最終日まで残れたことにホッと胸を下ろしたのは私だけではないはずだ。選抜の結果から不安に思っていた関西ボート部ファンはみんな驚きと喜びを感じたに違いない。さあ、明日のお天気と決勝戦の結果に期待はいやがおうにも盛り上がってくる。福井の美方も若狭もない。去年まで決勝で名前を聞かない高校がほとんどだ。だいたい、愛知選抜って何者？清風が頑張ってるじゃん！

♪ ちゃあ ちゃあ ちゃあ ちゃら ちゃらら・・・
 今だ チャンスだ ブッチギレ!(かつ飛ばせ)
 関西 屈指の 意地を見せろ～!!
 燃えろ!!カンゼイ～! ♪♪

5月6日(日)、関西ボート連盟の速報で結果を知った。

決勝1組

レーン	所属	クルー名	着順	500m	1000m	備考
1	-	伏見工業高 A	6 着	-	3 分 35 秒 27	-
2	-	関西高 A	2 着	-	3 分 28 秒 53	-
3	-	大津高 A	4 着	-	3 分 32 秒 82	-
4	-	高島高	5 着	-	3 分 34 秒 68	-
5	-	清風高 A	3 着	-	3 分 28 秒 58	-
6	-	愛知選抜 A	1 着	-	3 分 27 秒 16	-

先生のお言葉

わずかの間によく進化しました。満足したらそこで終わり。満つれば欠けるのです。750mあたりまでトップだったはず。そこから……?!
 この差は何なのか?? 逃した魚は大きかった!

惜しい・・・惜しすぎる。半艇身差で負けている。しかし、選抜から1ヶ月でこのレベルまで這い上がって来たことに拍手を送りたい。まして、2年生チームだ。インターハイへのステップとしては十分な結果ではないだろうか?

お見事!!!

優勝クルーメンバーを見ていたら面白いことに熊本学園大学付属高校が男子ダブルで1・2位を取り、女子はダブル・シングルの1位を取っている。ジュニアに男子4人女子6人も選ばれているのだから、分からないでもないか。むしろ、男子5人が選ばれている若狭はどうしたのかと気になるところだ。・・・500mに泣いていた？

森川先生のお言葉

皆様方のお陰で・・・クオドAが準優勝を収めました。これで10年連続の入賞です。応援ありがとうございました。

このクルーを組んだのが先月の4月23日（春季大会が延期された翌日）。朝日Rまで一週間足らずの練習でしたが、この短い間に何が出来るか？を考え、予選・準決勝も進化の過程でした。とにかく日々進化しよう！、決勝で自分たちの出来る最高のローイングをしよう！、決勝でゴールするまで納得しない！と選手に言ってました。わずかな間でしたが、本当に内容の濃い毎日でした。目標に向かって努力した選手たちを誉めてやりたいです。

この準優勝は、2年ぶり3回目の準優勝です。（「準」でこんな言い方あるのかな?!）H19は、ゴール後優勝したM高校に「ざまぁ～～みろ、関西！」と言われ、その悔しさを晴らすべく努力して、6月の全日本Jr.大会で二人が入賞（日本代表として世界大会へ）、そして10月の秋田国体で感動的なブッチぎりの大勝利（四連覇達成!）を収めました。H22は優勝候補筆頭でありながら、予選で勝ったW高校に決勝でもやの敗退。で、この悔しさを夏のインハイ（沖縄）でドカ～～～ンと晴らしました。私は部員によって沖縄のコバルトブルーの海に投げ込まれた。あの感動は忘れられません!!

はたしてうちの部員たちは、この準優勝をどう思っているのでしょうか？ 2位である以上、1位より劣っているのです。「敗者」なのです。

やっぱり・・・目指すは・・・『てっぺん』です。それは・・・関西ですから!!

《朝日レガッタこぼれ話①》決勝当日、2年生部員からの電話で高校ダブルスカルの部はU高校が優勝したと聞き、上がってきたU高校の生徒に「優勝おめでとう！」と言ったところ、彼らはしょんぼりした顔をしていました。どうやらそれは大間違いでした。(優勝したのはK高校) 彼らに悪い事をしてしまいました。その時、私は「あかん！悪い事言ってもた！恥ずかしい！穴がったら入りたいわ！！」とブツブツ言っていたら、それを隣で聞いていたo崎が「じゃあ、僕が穴を掘りましょうか」と素で言ってきました。私は川に落ちそうになりました。大丈夫かあ？！

面白部員 いたいた！

朝日レガッタ初日、うちの部員のo波が買出しでスーパーから帰る途中、暗闇で？こけてしまい皆が朝飲むことになっている牛乳を3パックもブチ撒けてしまい台無しにしてみました。(あ〜〜もったいない！) 彼は昨年12月、自転車で万成を走行中、よそ見していたため、顔面から地面に落ちてしまい大怪我をしてしまいました。いったい何処を見て通行しているのでしょうか？(実際のところ・・・ボートも真っ直ぐ進ませることが出来ません！笑)

最終日(6日)の朝のミーティングの時、部員たちの部屋内にアスリートが試合期に飲食してはいけない？お菓子ジャガリコと炭酸飲料が豪快にテーブルの上に置いてありました。その部員はo田。彼に「アスリートが試合時にこんなもん食べとったらあかんでええ〜！この中に何が入るとんのや？」と尋ねました。私はどんな薬物が含まれているのか？ということを探ねたつもりだったのですが、彼は涼しい顔？して「ジャガイモです！」と返答してきました。私は一気に萎えてしまいました。やっぱ・・・アスリートの食事学というものを教えなければなりませんね！！

色々 やってますな...

山口強化合宿

5月11～13日朝日レガッタも終わったばかりだと言うのに、鬼火弾号を今度は西へと走らせていた。小野湖での中国地区強化合宿に参加。

小野湖で思い出すのは、先生の携帯水没事件。ここへ来ると必ず何かしら湖の神様に持っていかれている。今年は、愛用の紺色のメガホンを沈めてしまった。しかし・・・

ところで.....昨日無くした（水没させた）メガホンが最後の最後に見つかりました。他校が帰った後、うちだけ残って棧橋・モーターの上で棒切れを使って底を探っていたら.....なんと、古米が GET したのです。かなり嬉しかったです。ボロボロのメガホンですが、10年ぐらい使ってきたメガホンだったので、発見された時はかなり嬉しかったです。彼にはお礼として昼御飯をご馳走しました。ありがとう！！

保護者会

5月19日(土)、春の保護者会が行われた。新1年生の保護者が始めて関西高校のボート部について話を聞ける。食事内容についてや先輩方の活躍・ボート部の歴史など、森川先生が楽しく、厳しく語ってくれた後、OB保護者が一人、ゲストとして招かれ、息子の高校ボート生活について講演する。今年のゲストは日大2年に在学中で高校時代、ジュニアの世界大会(フランス)に参加した、光亦君のお母さんだった。ボート生活を送る上で大変貴重なお話を聞けたに違いない。ボートの楽しさと辛さと、保護者の喜びと苦悩？はとても参考になる。そして、先輩の進路を聞いて、驚きと不安も感じたかもしれない。息子と共に母も頑張らなくてはならない事が沢山あることに気づく。

岡山県総合体育大会兼第60回全国高等学校総合体育大会

5月27日(日)、本日快晴なり。雲雀がさえずる中、関西が3種目制覇した。

1×予選A組 9:30

1着 関西A (福明)

2着 東商B

3着 関西D

4着 緑陽

2着以下を押さえ、楽勝の福明

1×予選B組 9:42

- 1着 関西B (河井)
- 2着 東商A
- 3着 関西C
- 4着 操山

河井はブッチギリのトップで余裕の1着

Cの〇〇は 1年生、踏ん張りを見せ750mで2番に上がるのではと思われたが、ラスト疲れたか3着に落ち着いた。

2× 11:06

- 1着 関西高校(古米・小野田) 3分33秒74
- 2着 操山高校 3分40秒98
- 3着 岡山東商 3分42秒29
- 4着 備前緑陽A 3分46秒11
- 5着 備前緑陽B 4分25秒49
- 6着 東岡山工 4分52秒20

他の追ついを全く許さず、素晴らしい漕ぎで優勝

4×+ 11:30

- 1着 関西A 3分39秒31 (和田・勝山・中西・坪井・竹中)
- 2着 関西B 3分58秒82

1× 11:42

- 1着 関西B 河井 3分56秒69
- 2着 関西A 福明 4分16秒80
- 3着 東商B 4分18秒18
- 4着 東商B 4分19秒49
- 5着 関西D 4分19秒69
- 6着 関西C 4分45秒95

インハイ岡山県大会 3種目制覇で、勝山キャプテンが全裸で胴上げされた。来週には中国大会がある。この勢いを続けて欲しい。



← 翌5月28日(月)の山陽新聞の記事からボート男子ダブルスカルを制した関西の古米君(右)と小野田君

記事によると

2年生ペア起用びたり

プライドを見せた。昨年は9年ぶりに逃した全3種目優勝を達成した。

森川監督のクルー編成に王者の意地がにじみ出ている。昨年、苦杯をなめたダブルスカルに、中学時代に同種目で全国優勝した2年生エース古米を起用。パートナーには「器用で、古米とのベクトルがぴったり合う」(森川監督)同じ2年生の小野田を指名した。

ペアの相性は指揮官の見立てどおり。抜群のスタートですぐさま1艇身のリードを奪うと、2人が「一度もリズムが乱れなかった」と口をそろえるように、対抗とみられた操山、岡山東商を寄せ付けず、2位と7秒の着差以上に危なげなかった。

3月の全国選抜は「お家芸」のかじ付きクォドルプルで16位と惨敗するなど振るわなかったが、古米、小野田、この日のシングルスカルで圧勝した河井ら有望な2年生を中心に立て直してきた。

一方で「3種目制覇は後輩の活躍が大きい。全国に向け、自分たち3年生もレベルアップする」と主将の勝山。次は、最上級生が意地を見せつける番だ。

森川先生のお言葉

おかげさまで二年ぶり？回目の全種目制覇、全種目インハイ出場権を獲得することができました。

私は、今回ほど全種目制覇にこだわったことは過去になかったと思います。それは.....昨年の県総体が私にとって屈辱的だったからです。昨年(5月28日)はコース設営後、翌日の台風襲来を懸念して急遽その日の午後から大会実施。急だったので私まで審判に駆り出されました。結局は...ダブルの敗退。大雨☔の中、審判ゆえに何も選手にさせてやる事が出来ません。自分の生徒のレース見る事が出来ず、後で結果を知るだけでした。監督としてこれほど虚しいことはありませんでした。そして翌日(29日)の新聞には.....「関西に風穴開ける」とか「関西の牙城を崩す」とデカデカと大見出しで書かれました。支えてくれた方々に申し訳ない気持ちでいっぱいになったのは今でも忘れられません。だから.....今年は何んなことをしてでも勝ちたかったのです。ずっと、拘ってました。

.....ということで今日はありがとうございました。

あっ、これで.....24年連続のインハイ出場となりました。

28日のOHKスーパーニュースで試合後のインタビューが放送された。古米・小野田・河井の3人が今後の抱負を語った。全中チャンピオンの古米と岡山ジュニアの河井に混じって頭角を現してきた小野田はH19の三村君の再来か？と噂されていた。あくまで噂です。保護者の皆さんは三村君をご存じないはず。現役部員も被っていないから知らないはず。彼は、入部した時から目標は『世界』でした。サンダルに『ジャパンの三村』『世界一の三村』と自らマジックで書き込んでいました。テンションが高く、いつも盛り上げ役の愉快的な子でした。ただ、身長が目を見張るほどではなく、エルゴの成績も目立っていませんでした。しかし、彼にはバネがあったのです。水上では同期の誰にも負けない強さがありました。2年生で兵庫のじぎく国体クォードで3連覇に貢献し、3年では世界ジュニアとして北京大会に参加。そして、秋田わかすぎ国体で4連覇にクルー長・ストロークとして皆を引っ張っていったのです。更に、アジアジュニアではダブルで優勝し、関西ボート部にとってH18の上谷君に続き2年連続アジア帝王の誕生を叶えました。卒業後は日本大学へ進学し、1・2年時インカレでエイトに乗り優勝。その後、腰を痛め治療に専念しましたが、現在「東レ滋賀」にて練習にいそしんでいます。さてさて、とっても楽しみな2年生3人に目が離せなくなってきました。

第56回中国高校ボート選手権大会 in さくらおろち湖



6月2・3日(土・日)、島根のさくらおろち湖にて行われた。森川先生曰く、斑蛇口湖のミニ版だそうです。今回、近場の宿泊施設がJTBのおかげでハンパなく宿泊費が高騰したため、以前より利用していた松江の『寺津屋』に泊まることとなった。会場までマイクロで1時間かかっても、『庄助』のおでんには変え難いものがあるようだ。『ケネデー』にも行くのかな？看板の文字はマスターが『ケネディー』と発注したにも関わらず業者が間違えてしまい、無料になったのでそのまま使用しているとか、しかも、今や『ケネター』に成ってしまっている。月日は無残である。

1× 予選	9:10		
1着	関西	3:40:75	古米
2着	米子工	3:48:01	
3着	宮島工	4:00:74	
4着	江津工	4:02:74	
5着	西市	4:05:61	

2× 予選 9:40

- | | | |
|--------|---------|-------|
| 1 関西 | 3:30:25 | 勝山・福明 |
| 2 米子東 | 3:33:72 | |
| 3 宮島工 | 3:35:85 | |
| 4 周防大島 | 3:39:91 | |
| 5 江津工B | 3:40:31 | |

4×+ 予選 10:20

- | | | |
|--------|---------|--------------------------------|
| 1 江津工 | 3:21:45 | |
| 2 鳥取東 | 3:25:46 | |
| 3 周防大島 | 3:29:97 | |
| 4 関西 | 3:35:70 | 小野田(S)・中西(3)・竹中(2)・鈴木(B)・難波(C) |
| 5 広島工大 | 3:51:47 | |

1× 予選 11:20

- | | | |
|--------|---------|----|
| 1 関西 | 4:06:41 | 河井 |
| 2 松江高専 | 4:07:04 | |
| 3 西市 | 4:15:37 | |
| 4 宮島工 | 4:17:60 | |
| 5 鳥取東 | 4:35:33 | |

雷雨の為、本日のレースは中断となりました。4×+敗復が持ち越しとなった。

1× 準決勝 9:00

- | | | |
|--------|---------|----|
| 1 関西 | 3:43:97 | 古米 |
| 2 岡山東 | 3:52:89 | |
| 3 米子松蔭 | 4:00:42 | |

2× 準決勝 9:20

- | | | |
|--------|---------|-------|
| 1 関西 | 3:31:72 | 勝山・福明 |
| 2 宮島工 | 3:36:53 | |
| 3 岡山操山 | 3:42:01 | |

1× 準決勝 11:00

- | | | |
|-------|---------|----|
| 1 関西 | 3:44:84 | 河井 |
| 2 米子工 | 3:45:19 | |
| 3 西市 | 4:04:77 | |

4×+ 敗者復活 10:30

- | | | |
|-------|---------|--|
| 1 松江北 | 3:20:46 | |
| 2 関西 | 3:25:55 | |
| 3 広島工 | 3:46:21 | |

1 コロ敗コロは24年振りだとか・・・

1×	決勝	13:20	
1	関西	4:00:30	古米
2	関西	4:08:35	河井
3	松江工専	4:08:81	
4	操山	4:30:41	
2×	決勝	13:40	
1	着 関西	3:58:23	
2	着 松江東	3:58:49	
3	着 鳥取東	3:59:44	
4	着 江津工業A	3:59:65	

古米
河井

結果は優勝でした。

昨年度山地先輩がとったトロフィーを必ず自分の手で取り戻そうと考えレースに望みました。それと同時に明後日から出発するJOCにも、つなげられる様にイメ

結果は、二位という全然納得のいく結果では、ありませんでした。

予選・準決勝では、二位の人達にコンマ差で勝ちました。

しかし、コンマ差で勝っても全く意味がありません。もっと差をつけて勝たないと何の為にJAPAN合宿まで行った意味がありません。

そして、決勝では一位に八秒差をつけられ三位とはまたコンマ差で勝つという結果でした。

逆風で自分の方が体格的にも有利だったのにも関わらず、自分の漕ぎに集中出来ず、周りばかりが気になってしまい全くダメでした。

今のままでは、本当に名前だけの日本代表候補になってしまいます。

今日の事をしっかり振り返り何が良く、何が悪かったのかを理解し次に繋げて行きます。

県外大会で初の優勝をすることが出来ました。さくらおろち湖に来るのは初めてだったのですが、コースに慣れることから始め、自分たちなりに考えて行動していくことが出来たと思います。一番に全ての準備を万全にし、余裕を持つことが大切だと改めて思いました。決勝はただがむしゃらに漕ぎ、一位でゴールすることが出来たのは良かったのですが、観客をハラハラさせるほどのコンマ差だったことも事実なので、ここで満足せず、これからの限られた時間でどれだけ進化できるのかを自分自身に問いかけて過ごしていきます。良い報告が出来たことを本当に嬉しく思います。 福明

中国地区の高校の実力もそこはかとなく感じられた。上(全国大会)に繋がらない試合なので、毎年シングルとダブルに力を入れての練習試合みたいなものだ。本番はこれからだ。